

稲城野草散策の会

野草スケッチ ユウガギク（キク科）



1996/10/18 稲城市坂浜 絵と文 Ta

ユウガギクはいわゆる「野菊」の一つである。

関東近辺で「野菊」と呼ばれているものには、この他に、ノコンギク、カントウヨメナ、リュウノウギクがある。

いずれも白～淡い紺色で、日当たりのよい畦道や林縁に咲く。

会報第58号 2009年10月17日発行 発行責任者 尼子 房夫

ユウガギクは「柚香菊」と書く。

ユズの香りがするということなのだが、匂いは感じられない。

私の鼻が悪いのかと、他の人にも訊ねてみたが、同様であった。

生のままでは匂わなくても、乾燥すると香りが出る場合がある。

フジバカマなども、乾燥させないと、独特のいい香りは生じないのだそうである。

いつか試してみようと思いつきながら、まだ果たしていない。

(いつもこうだ(^_^))

キク科の植物には、果実に冠毛(かんもう)がついているものが多い。

冠毛とは、タンポポなどについている綿毛のことだ。

野菊の類は冠毛で区別できる。

たとえばノコンギクの冠毛は5mmほどあって、ユウガギクにはほとんど無い。

ところが、カントウヨメナも同様なので、冠毛だけではユウガギクとの区別はできない。

この場合、フィールドでは、葉に注目する。

葉が柔らかく、切れ込みが大きい方がユウガギク、と見分けている。

直感的には、生えている場所で見当をつける。

カントウヨメナは水辺、ノコンギクは乾いたところ、ユウガギクは中間のやや湿ったあたりに生えることが多い。

ノコンギクは冠毛を利用して、風でタネを飛ばすことができる。

カントウヨメナは、流れを利用して種子散布を行っているのだと思われる。

野菊といえば思い出すのが伊藤左千夫の「野菊の墓」だ。

小説の中では単に「野菊」となっているだけだが、なんだったのだろう。

野菊についての記述はこうだ。

『道の真中は乾いているが、両側の田についている所は、露にしとしとに濡れて、いろいろの草が花を開いている。タウコギは未枯れて、水蕎麦蓼など一番多く繁っている。都草も黄色く花が見える。野菊がよろよろと咲いている。』

田の畦でタウコギがあり水蕎麦蓼(ミソソバ?)が繁っているとすると、田んぼの縁か用水路の脇、ということになる。

水辺にあったのなら、カントウヨメナが最有力候補だ。

少なくとも、ノコンギクとは考えにくい。

ユウガギクの可能性もわずかに残ってはいる。

だが、ユウガギクの白っぽい花よりも、淡い紺色のカントウヨメナの方が小説のイメージには合うと思う。

こういうことにかけては、結構マニアがいるものだ。

「野菊」の正体は、マニアの手によって調べ尽くされているかもしれない、と思う。

本筋とは関係ないが、上の記述で気になったことがあった。

「都草も黄色く花が見える」というくだりである。

野菊の季節（小説では9月13日）に、ミヤコグサが咲くものだろうか。

「都草」がミヤコグサ（マメ科）ではなく、別の花を指しているのだろうか。

小説を読んでいて、ストーリーよりも、登場する植物に興味が移ってしまう場合がある。

まあ、それも小説の楽しみ方の一つなのかもしれない。

（2000年10月記）

* * * * *

〔観察記録〕 9月5日 水元公園

午前中は思っていたよりは涼しい感じでしたが、午後風が無くなるとやはり暑くなりました。今回の参加者は46名。例年暑い時期は遠慮される方が多いですね。

桜土手のバス停から出発。最初は水辺の植物。権八池（アサザ自生地）では、オオフサモの白い花が一面に咲いていて、アサザの花、ヒシ、ガマもありました。この池の付近にホソバウンランの花も見られました。オニバスは今年为天候のせいで花が少ないそうで、花は見られませんでした。担当の方が花の写真を見せてくれました。花の写真を貰った方もありました。旧水産試験場跡でも水辺の植物がいろいろ見られました。ここは段々整備されてきています。ミソハギの花、ガガブタ、コウホネ、トチカガミ、デンジソウ、ミクリなどなど。

小合溜の端でゴキツルの花、サデクサを見たあと、桜土手に自生するフジバカマの花を見に行きました。

水生植物園で今日の目玉のミズトラノオの花が咲いているのを見ることが出来ました。今年はオニバスの時期をはずして9月に設定してよかったと思います。

次回は9月27日黒川～真光寺（別所）です。またお会いしましょう。（FAM）

▼観察記録（番号順）

(01)アレチノギク、(02)ヒロハギシギシ、(03)シマスズメノヒエ、(04)オオフサモ(花)、(05)ヒシ、(06)ヒヨドリジョウゴ(花)、(07)ヘクソカズラ(花)、(08)ヤシャブシ(実)、(09)イヌビエ、(10)ヨシ、(11)アサザ(花)、(12)ガマ、(13)ホソバウンラン(花)、(14)イヌエンジュ(実)、(15)ヒメモロコシ、(16)トウネズミモチ(実)、(17)サンゴジュ(実)、(18)ノブドウ(実)、(19)アメリカノウゼンカズラ(花)、(20)オオジシバリ(花)、(21)アリタソウ、(22)コリヤナギ、(23)スダジイ(実)、(24)シダレヤナギ、(25)ヒメガマ、(26)イヌコリヤナギ、(27)ニワトコ、(28)クサギ(花) (実)、(29)コゴメイ、(30)タコノアシ、(31)ヒメクグ、(32)ハゼノキ、(33)ミソハギ(花)、(34)アイノコヒルガオ(花)、(35)オミナエシ(花)、(36)ミクリ(実)、(37)ガガブタ(花)、(38)オオアカウキクサ、(39)コウホネ(花)、(40)デンジソウ、(41)カンガレイ、(42)トチカガミ、(43)サデクサ、(44)ゴキツル(花)、(45)アメリカタカサブロウ(花) (実)、(46)ツルマメ(花)、(47)クサネム(花)、(48)ヤマイ、(49)ヒロハホウキギク(花)、(50)スイレン(花)、(51)ヌマスギ、(52)ケイヌビエ、(53)チョウジタデ(花)、(54)ワルナスビ(花)、(55)ボンドサイプレス、(56)フジバカマ(花)、(57)センニンソウ(花)、(58)トネリコ、(59)ヌルデ(花)、(60)キツネノマゴ(花)、(61)スズメウリ(花)、(62)エノキグサ、(63)カラスウリ、(64)アシボロ、(65)ケチチミザサ、(66)ギンミズヒキ(花)、(67)カントウヨメナ(花)、(68)アカメガシワ(実)、(69)カラスウリクキフミフクレ、(70)ゴンズイ(実)、(71)ウバメガシ、(72)ヌマトラノオ(花)、(73)ウシノシッペイ、(74)クスノキ(実)、(75)アオジクユズリハ、(76)アメリカセンダングサ(花)、(77)キクモ、(78)ミズネコノオ(花)、(79)アゼムシロ(花)、(80)アキニレ、(81)コミカンソウ、(82)サイカチ(実)

〔観察記録〕 9月27日 黒川～真光寺（別所）

午前中は曇り加減の天候で、過ごしやすい一日でした。80名近い参加者がありました。

黒川駅南口空き地のハリヒメハギは健在でした。この空き地はいろいろ観察出来る場所ですが、そろそろ建築工事も始まっているようで、そのうちここもなくなってしまいそうです。

今日の日曜日はお祭り日和で、黒川の田んぼの中の道をおみこしがやってきました。子供たちのみこしもあってにぎやかでした。田んぼのそばでクルマアザミが咲いていました。この辺りにもあるんですね。

伝甲州街道の立て札のある辺りにこの辺りでは珍しいダンチクがあり、ハンカチノキも見られます。その先の道のそばにはキツリフネの花が咲いていました。

途中でアレチウリがはびこっているのにはびっくりしました。

今日は結構歩いて少し疲れしました。別所のバス停からほとんどの人はバスで帰りましたが、ここからのオプション観察に参加された方も何人かいらっしゃったようです。お疲れ様でした。FAM)

▼観察記録（番号順）

(01)メリケンカルカヤ、(02)ハリヒメハギ(花)、(03)メドハギ、(04)ヤマイ、(05)ヒガンバナ(花)、(06)ハルノノゲシ(花)、(07)モロヘイヤ(花)、(08)オオイヌタデ(花)、(09)ザクロソウ(花)、(10)コゴメガヤツリ、(11)ツルボ(実)、(12)ナワシロイチゴ、(13)チャノキ(花)、(14)ケチチミザサ、(15)クワクサ、(16)カニクサ、(17)テリハノイバラ、(18)カラムシ、(19)シラキ、(20)イボクサ(花)、(21)オモダカ(花)、(22)ヒメクグ、(23)ハシカグサ(実)、(24)ヒデリコ、(25)オオジシバリ(花)、(26)トキワハゼ(花)、(27)チョウジタデ、(28)アメリカタカサブロウ、(29)ヒロハホウキギク(花)、(30)コブナグサ、(31)ツルマメ(花)(実)、(32)アカバナ(花)、(33)イヌホタルイ、(34)イヌタデ(花)、(35)セイタカアワダチソウ(花)、(36)ゲンノショウコ(花)、(37)カントウヨメナ(花)、(38)ケキツネノボタン(花)(実)、(39)コマツヨイグサ(花)、(40)ダンドボロギク、(41)コナギ(花)、(42)アメリカアゼナ、(43)トキンソウ、(44)ヨウシュヤマゴボウ、(45)サワヒヨドリ、(46)ヒナガヤツリ、(47)キツネノマゴ(花)、(48)スイカズラ、(49)ヌカキビ、(50)カラスウリ(実)、(51)ヤマハゼ、(52)ヤーコン、(53)キブシ、(54)ユウガギク(花)、(55)ノハラアザミ(花)、(56)ヤブマメ(花)、(57)ニガクサ、(58)アメリカイヌホオズキ(花)(実)、(59)コクサギ、(60)カラスウリクキフクレフシ、(61)シロダモ(実)(蕾)、(62)イワガネソウ、(63)ハナタデ(花)、(64)イヌワラビ、(65)ワレモコウ、(66)ホウキギ、(67)バйкаウツギ、(68)ハナシュクシャ(花)、(69)ナキリスゲ、(70)ハキダメギク(花)、(71)カナムグラ(花)、(72)イシミカワ、(73)サルトリイバラ(実)、(74)ウコン(花)、(75)センニンソウ(実)、(76)シオデ、(77)カシワバハグマ(花)、(78)シラヤマギク(花)、(79)フユノハナワラビ、(80)マルバアオダモ、(81)ツルグミ、(82)モチノキ、(83)ヤクシノウ(花)、(84)コムラサキ(実)、(85)ネコハギ、(86)ホラシノブ、(87)アシタバ、(88)ミドリヒメワラビ、(89)ベニシダ、(90)フモトシダ、(91)オオベニシダ、(92)ナンテンハギ(花)、(93)ノササゲ(花)、(94)オオブタクサ、(95)ガマズミ(実)、(96)クサギ、(97)ノガリヤス、(98)シバヤナギ、(99)ダンチク、(100)ハンカチノキ、(101)ヤマハッカ(花)、(102)オオバノイノモトソウ、(103)コンテリクラマゴケ、(104)タチシノブ、(105)トキリマメ(実)、(106)エビツル(実)、(107)アオツツラフジ(実)、(108)サネカズラ、(109)オニドコロ、(110)アレチウリ(花)(実)…(FAM)

〔観察記録〕 9月21日 突発オフ・横沢入

9月21日に稲城野草散策の会MLで話題になっていた横沢入の観察会がありました。武蔵増戸駅…大悲願寺…横沢入…武蔵五日市駅のコースで、突発だったので、22名の参加者がありました。

大悲願寺のシラハギ（伊達政宗が、本堂前庭に咲く白萩の美しさに見入られ、譲渡を希望したという由来があります）、途中でのマンジュシャゲの花がきれいでした。横沢入では、下唇に赤～赤紫の色の付いたキバナアキギリの花が見られました。このコースでは色々な植物が観察出来、お勧めです。

観察記録をまとめてみました。チェックがしやすいようにアイウエオ順にしています。

▼観察記録（アイウエオ順）

アカバナ、アキノウナギツカミ、アキノエノコログサ、アキノタムラソウ、アキノノゲシ、アズマヤマアザミ、アブラススキ、アメリカセンダングサ、アメリカネナシカズラ、イグサ、イヌカタヒバ、イヌキクイモ、イヌコウジュ、イヌゴマ、イヌタデ、イヌトウバナ、イヌホオズキ、ウバユリ、ウリノキ、エゴマ、オオアブラススキ、オオバノイノモトソウ、オオミソソバ、オニドコロ、オミナエシ、カナムグラ、カラスウリ、カラムシ、カワラスゲ、キウイ、キハギ、キバナアキギリ、キンエノコロ、キンミズヒキ、キンモクセイ、クコ、クサギ、クルマバナ、ケチチミザサ、ゲンノショウコ、コガマ、コゴメガヤツリ、コセンダングサ、コナギ、コブナグサ、コメナモミ、サネカズラ、サヤヌカグサ、サンカクイ、シオン、シマトネリコ、シュウカイドウ、シュウメイギク、ショウジョウソウ、シラタマミズキ、シラハギ、シラヤマギク、シロバナマンジュシャゲ、ススキ、スズメウリ、スベリヒユ、センニンソウ、タイアザミ、タカサブロウ、タカトウダイ、タマガヤツリ、チカラシバ、チョウジタデ、ツリフネソウ、ツルボ、テリハヤブソテツ、ナキリスゲ、ヌカキビ、ヌスビトハギ、ネズミノオ、ネムノキ、ノハラアザミ、ノブキ、ハシカグサ、ハダカホオズキ、ハッカ、ハツユキカズラ、ハナイカダ、ハナタデ、ヒガンバナ、ヒメイワダレソウ、ヒメクグ、ヒメジソ、ヒョドリバナ、フジカンゾウ、フモトシダ、ヘラオモダカ、ペラペラヨメナ、ホタルイ、ボントクタデ、ママコノシリヌグイ、ミスタマソウ、ミドリヒメワラビ、ミヤマフユイチゴ、ムラサキシキブ、ヤブタバコ、ヤブツルアズキ、ヤブハギ、ヤブマメ、ヤブミョウガ、ヤマゼリ、ヤマハギ、ヤマハッカ、ユウガギク、ヨシ (FAM)

その他、アレチヌスビトハギ、イシミカワ、イボクサ、オグルマ、ザクロソウ、セリ、トキホコリ、ノダケ、ヤノネグサを見ました。（ぽんこ）

〔行事予定〕 2009/10/17 (土) 稲城ふれあいの森

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標若葉台駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目小田急多摩線の場合は、永山駅、または多摩センター駅で、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換え若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城ふれあいの森(一回りして若葉台駅へ戻ります) 若葉台駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	ツリガネニンジン、リンドウなど
地図	
コース	若葉台駅→ふれあいの森→(南周遊路)→大塚牧場脇→(休耕田)→正吉苑脇→谷戸→日大グランド脇→若葉台駅(解散:4時頃) 多少のアップダウンがありますコースは天候その他により変更する場合がありますご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2009/11/28 (土) 草花丘陵

項目	説明
集合	am10時、JR青梅線羽村駅 改札口付近 ※会旗目標 羽村駅の改札口は一個所だけです
交通	JR青梅線青梅特快 立川発9:35 羽村着9:55があります 立川～羽村は、約20～25分です
行く先 (解散場所)	草花丘陵(一回りして羽村駅へ戻ります)(下の地図を参照ください) 羽村駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	羽村市のボランティアが保護しているカワラノギクが見ごろです カワラノギクの分布は多摩川と相模川の一部に限られています 他に、コシオガマ、コウヤボウキ、ヤマゼリ、タイアザミなどの花 や各種木の実が見られます
地図	
コース	<p>羽村駅→羽村堰→河原(カワラノギク保護地)→羽村市郷土博物館 (昼食)→羽村神社→ゴルフ場に沿った散策路→羽村大橋→羽村堰 →羽村駅(解散:4時頃)</p> <p>行程4～5km程度です 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円